

テクノインストラクターになるには

都道府県、機構等の採用試験に合格すれば、テクノインストラクターとして働くことができます。その際、国家資格である「職業訓練指導員免許」を取得しなければなりません。

免許の取得方法は様々ですが、例えば、免許職種に関する科（専攻）の高校及び大学を卒業後、一定期間仕事を経験し、職業訓練指導員試験や厚生労働大臣が指定する講習を修了することで取得できます。

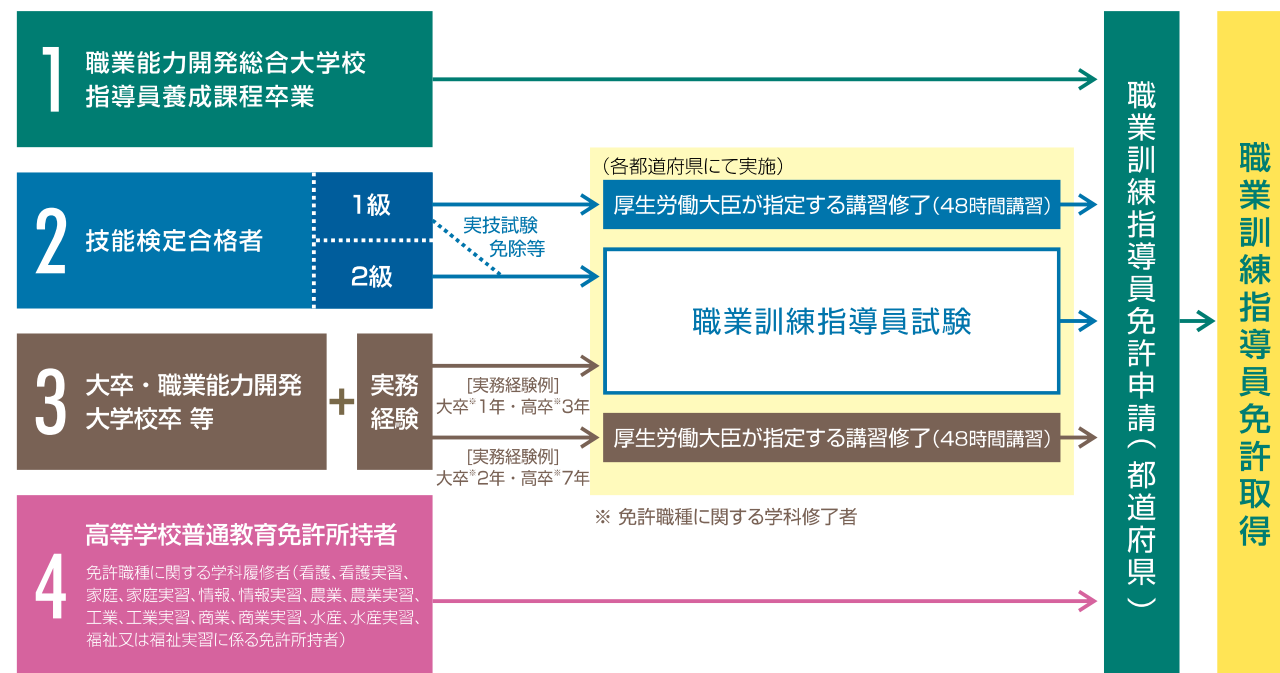
技能・技術を習得している方は、既にテクノインストラクター候補者です！ 全国のテクノインストラクター募集情報については、厚生労働省のホームページで確認できます。

厚生労働省のホームページ

[全国のテクノインストラクター募集情報](#) はこちら ▶



■ 職業訓練指導員免許を取得する方法



キャリアアップ

自身の「なりたい姿」にキャリアアップ

全国の公共職業能力開発施設で働くテクノインストラクターは、単に職業訓練の指導を行うだけではなく、例えば、地域の人材ニーズに基づく職業訓練計画の策定、教材開発、就職支援、訓練内容の評価、改善など、一連の職業訓練コースの運営ができる能力も必要となります。

自身に不足する技術技能等を補い、より高いレベルのテクノインストラクターとしての成長を後押しするための仕組みもあります。



研修制度例

現場でのOJTの他にOff-JTとして、職業能力開発総合大学校（PTU）では、テクノインストラクターのためのスキルアップ研修が行われており、より実際の職業訓練に即した能力を習得できます。

PTUのホームページ

[研修/セミナー情報](#) はこちら ▶



詳しくはテクノインストラクター総合情報サイトへ ▶



テクノインストラクター

検索

技で未来を切り開く

ものづくりを支える人材をつくるプロフェッショナル

テクノインストラクターになりませんか？

あなたの技が人や企業を育て、ものづくり日本の礎となるのです。教えることが好きで、ものづくりの現場で経験してきたことを活かしたいと思っているあなた、テクノインストラクターになりませんか？ 今、持っている技と経験を新たなフィールドで活かすことができます。

活躍する喜び、成長する喜び、感謝される喜びを ——— テクノインストラクター になりませんか？

テクノインストラクターとは

「ハロートレーニング」(公的職業訓練)などで、スキルアップなどに必要な技能・技術の指導や就職に必要な支援などを行う、法律(職業能力開発促進法)に基づく「専門職」です。

どんな仕事？



自ら習得した技能・技術によって
受講者の技能を向上させる

「未来を切り開く」
「希望」のある仕事

受講者のスキルアップから
就職活動までをサポートするので

「感謝」される
「働きがい」のある仕事



技術革新に対応するため、
自ら学び、成長を続ける

「やりがい」のある仕事



法律(職業能力開発促進法)に基づく
専門職なので

「安定感」のある仕事

先輩指導員が語る

テクノインストラクターの魅力

建築分野

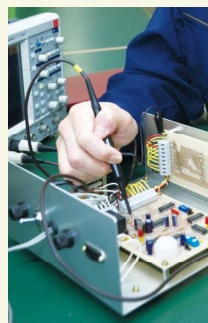
指導することの楽しさややりがいを体験し、
テクノインストラクターの道に進むことを決めました。



私は職業能力開発総合大学校で建築工学を学ぶ中、建築士の道も検討していたものの、職業訓練現場での実務実習を通じて、指導することの楽しさややりがいを体験し、テクノインストラクターの道に進むことを決めました。
テクノインストラクターの業務は専門分野の技の指導だけではなく、就職支援などのキャリア形成など多岐にわたります。受講者から感謝され、ものづくり現場を支える人材の育成に携わり、経験を積み重ねるほど働きがいを感じています。

電子分野

生き生きと働いている訓練修了者の姿に
達成感と喜びを感じます。



私は小さいころからものづくりが好きでした。ものづくりの楽しさ・面白さを伝えたいと思いテクノインストラクターの仕事に就きました。
ハロートレーニングで技を身につけて就職していった多くの訓練修了者が、ものづくりの仕事に携わり、生き生きと働いている姿を見た時には、達成感と喜びを感じます。
また、ものづくりを支える人づくりに携わることで、自分自身の成長を通じてやりがいを感じています。

Q1 テクノインストラクターの具体的な仕事内容は？

A 就職やスキルアップに必要な技術的指導のほか、
受講者へのキャリアコンサルティング、人材ニーズの把握や訓練カリキュラムの作成等を行います。

技術的な指導

キャリア
コンサルティング

人材育成・
訓練コーディネート

訓練カリキュラム
開発



機械分野

主なテクノインストラクターとして
専門性が活かせる6分野の技能・技術要素

機械分野(機械設計、機械加工など)

金属分野(溶接加工、プレス加工など)

電気分野(電気設備工事、PLC制御など)

電子分野(組込みシステム開発・設計など)

建築分野(建築設計、建築施工など)

設備分野(建築設備工事・保安など)



電気分野



建築分野

※専門分野は各都道府県によって異なり、上記6分野以外
(介護や自動車整備など)もあります。

※施設や個人によって始業・終業時間は異なります。

テクノインストラクターの一日 例

8:20	8:45～	9:00 ～ 16:00	16:00～	17:00～	17:30
出勤 職員宿舎から 自家用車で 15分。 	始業 毎日朝礼で、今日一日 のスケジュールを 職員全員で 確認します。 	訓練開始から終了 訓練担当日は、実習場で受講者の指導にあたります。 訓練がない日は、訓練の準備や企業への 訪問などを行います。 12:15～13:00 昼休憩 施設の食堂で昼食 をとります。 	訓練後 今日の訓練指導記録 の作成や明日の訓練 準備を行います。また、 この時間に施設内会議 等が開催されることが 多いです。 	終業 同僚達といろいろ な話ができる貴重な 時間です。 	退勤 帰宅して家族と 一緒に過ごしたり、 趣味の時間に あてたりと 明日の鋭気を 蓄えます。

Q2 テクノインストラクターが働く場所は？

A テクノインストラクターが働く主な場所

1 全国の公共職業能力開発施設で働く

〈公共職業能力開発施設の一例〉

- 都道府県が設置・運営している公共職業能力開発施設
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営している公共職業能力開発施設(ポリテクセンター、ポリテクカレッジなど)
- 障害者職業能力開発校

2 事業主団体や職業訓練法人が実施している
「認定職業訓練施設」で働く

3 法務省の「矯正施設」で働く



働く場所によって身分が異なる?!

都道府県に採用された場合 -----> 地方公務員

機構に採用された場合 -----> 準公務員(団体職員)

法務省に採用された場合 -----> 国家公務員 など

また全国の公共職業能力開発施設では、**約4,000名**の
テクノインストラクターが活躍していますよ。